

看護のプロフェッショナリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第11回 ワークショップの開催報告

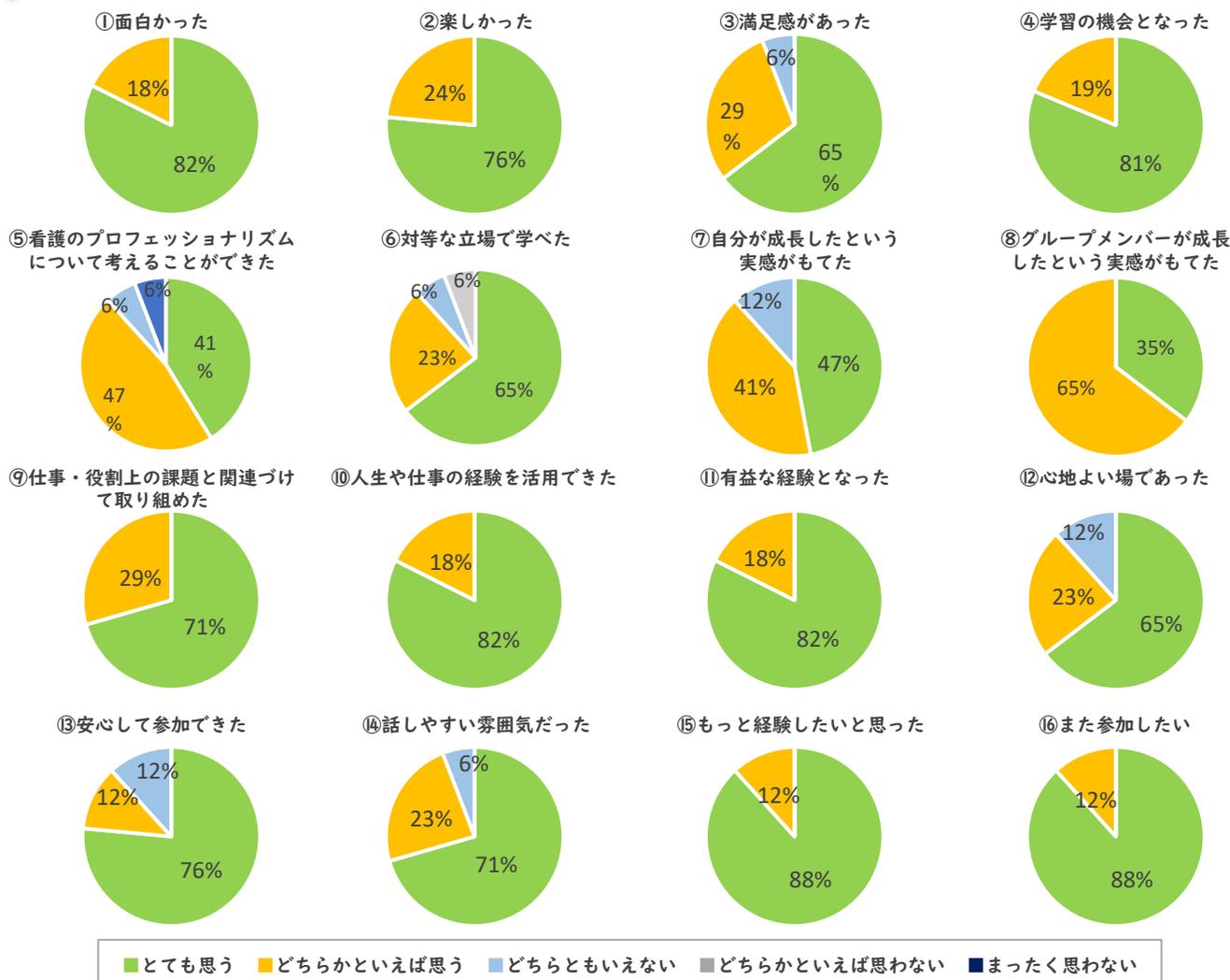
今年度初の開催が12月と、前回から9ヶ月も空いてしまいましたが、久しぶりのワークショップは私にとって相変わらず心地よい場所でした。参加者して下さったみなさまにも、そう感じていただけたなら嬉しいです。今回は「ワークショップのこれまでとこれから」として、前半は機関誌「看護（2022年4月号）」や日本看護学教育学会第32回学術集会での成果発表を報告しました。後半は「看護についてみんなで語ろう！」と題したワールドカフェで盛り上がりました。

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2022年12月28日（水）9:30-12:00

参加者：20名（看護職、看護大学生、大学教員、大学院生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答17名



自由記載で頂いた感想やご意見

- ✓ 多様な立場の人が集まっている中で、すごく話しやすかったです
- ✓ 参加者の方々のお話がどれも大変興味深く、思いや考えを語り合う場の心地よさを実感できました
- ✓ 様々な立場の方と看護を考える機会をもつことは、プロフェッションとしての成長に必要だと感じました
- ✓ 学生さんとのディスカッションがとても刺激となり、自身も同じように成長したいと感じました
- ✓ 普段の学生生活では出会うことのない方々とお話することができるので、とても有意義な時間でした
- ✓ 話すことで自分の本心に気づいたり、それをメンバーに認めて頂いたりした体験が心に残りました
- ✓ 職場の同僚にも参加を勧めたいと思いました
- ✓ 発言することで経験を省察し、今後の方向性を見出すことに繋がるサイクルのようなものを感じられました